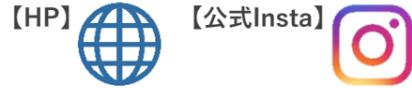


WACON NEWS

ワコン通信 ~2026.3~

発行元 '26-3号

WACON



【本社】和歌山県紀の川市中井阪361
TEL: 0736-77-2203
【東京営業所】TEL: 03-5875-3560
【大阪事業所】TEL: 06-4307-3867

編集：企画技術室

皆様、こんにちは。3月に入り、寒さの中にも少しずつ春の訪れを感じられる季節となりました。日ごとに日差しがやわらかくなり、草木の芽吹きからも季節の移ろいを感じられる頃ですね。年度末を迎え、業務の締めくくりや新年度に向けた準備でお忙しい時期かと存じます。これまでの取り組みを振り返るとともに、次のステップに向けた動きが本格化する時期でもあります。環境の変化が多い季節でもありますので、体調管理には十分ご留意いただきながら、無理のないペースでお過ごしください。今月号も、皆様にとって新たな気づきや業務改善のヒントとなる情報をお届けしてまいります。

今月のニュース

- TOPICS 『初開催！【食品物流&3PL総合展】に出展いたします』
- 製品紹介 『クールワンプラスのご紹介』
- 事例紹介 『プラスチックからダンボールへ、新しい収納のかたち』

TOPICS 初開催！【食品物流&3PL総合展】に出展いたします

初開催の展示会となる「食品物流&3PL総合展」に出展を予定しております。

当日は弊社製品をご覧いただける機会となっておりますのでぜひ会場へお立ち寄りください。

詳細につきましては、時期が近づきましたら改めてご案内いたします。

ぜひお立ち寄りくださいますようお願いいたします。



製品紹介

クールワンプラスのご紹介

クールワンプラス



ポイント オリコン+シッパーをご使用の方で融解クレームにお悩みの方
⇒**クールワンプラスに変えて保冷性能2倍にアップ!**

ポイント ドライアイスをやめたい
⇒**今オリコン+シッパーにドライアイスを入れているのであれば、保冷剤に変えると2~2.5倍の量の保冷剤が必要になります。⇒クールワンプラスに変えると、保冷剤量を減らせます!**

ポイント 野菜の配送もクールワンプラスにお任せ!
保冷剤が商品に直接触れない設計のため、冷凍焼けせずに、鮮度を保って運べます!

使用例 ドライアイスゼロで冷凍品の輸送・置き納品

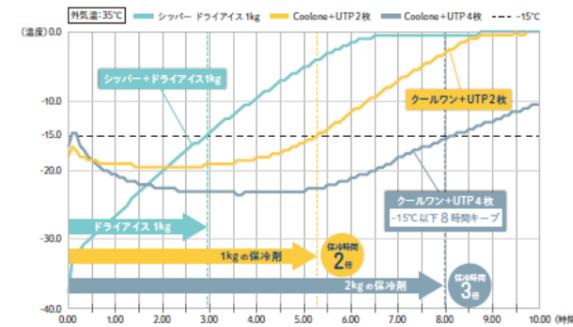
ドライアイス使用量をゼロに!

昨今、人手不足の影響や、2024年物流問題を機に、夜間や早朝に無人店舗へ商品を納品する「置き納品」が増えています。一方、冷凍品を置き納品する際に必要なドライアイスは年々供給不足により高騰化しています。クールワンプラスと冷凍保冷剤を使えば、ドライアイスを使用せずに冷凍輸送・置き納品が可能になります。



お客様の声
ドライアイスを年間数千円使っていましたが、完全にゼロにすることができました。大きなコストダウンにもなりましたが、ドライアイス不足による供給制限のリスクがなくなり安心です。ちなみに、冷凍品の融解クレームが一切起こっていません。みんな大喜びです!

ドライアイスの2~3倍の冷凍時間を実現



使用例 真夏でも、カット野菜の鮮度をキープする冷蔵輸送

夏場でもしっかり鮮度&冷蔵キープ

カット野菜の鮮度低下を抑えるためには、温度を低く保ち、野菜の呼吸量を抑制させることが大切です。「クールワン」と専用保冷剤(0°Cタイプ)を使用すれば、5°C以下を5時間(8°C以下を10時間)キープすることができます。カット野菜など、鮮度維持が難しい商品の輸送に最適です。

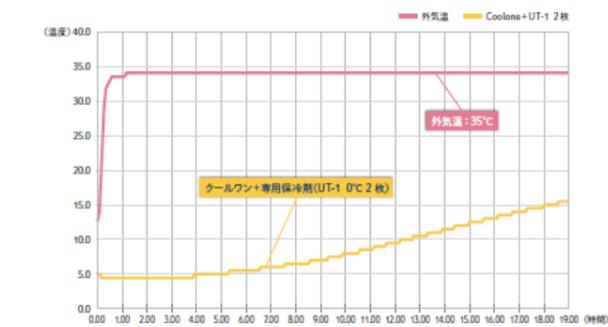


クールワンは裏面に専用保冷剤を設置できる設計
0°Cの保冷剤は初期温度が零下であるため、直接カット野菜に当たると低温焼けを起こしてしまいますが、「クールワン」を使えば問題解決!



お客様の声
クールワンに切り替えたことで、これまで夏場に起こっていた野菜の温度変動による品質クレームが一切なくなりました。しかも、新鮮さが保て、カット野菜をシャキシャキ状態で保つことができました。これで、店内調理の手間を減らすことができました!

5°C以下5時間、8°C以下10時間キープ



ワコンCOOL事業部は温度管理のプロ集団！
現状の運用方法のヒアリングや現場の確認をさせていただき、最適な運用方法や資材の選定を一緒に行います。

まだ夏の気温ではないから運用試験ができない...
ワコンには温度試験設備が整っているので、涼しい時期でも夏場環境の試験が可能です。
GWにかけて徐々に注文数が多くなっていくので、早めの対策で今年の夏を乗り切りましょう!

詳しくは営業担当にご連絡ください!



今回のお客様・・・雑貨販売業者様

今回のご相談内容

お子様が毎日持ち帰ってくる絵や賞状、写真や工作などを保管するファイルケースはプラスチック製が一般的だと思います。ただ、もう少し温かみがあって、見た目もおしゃれに収納できるケースを作りたいと思っています。

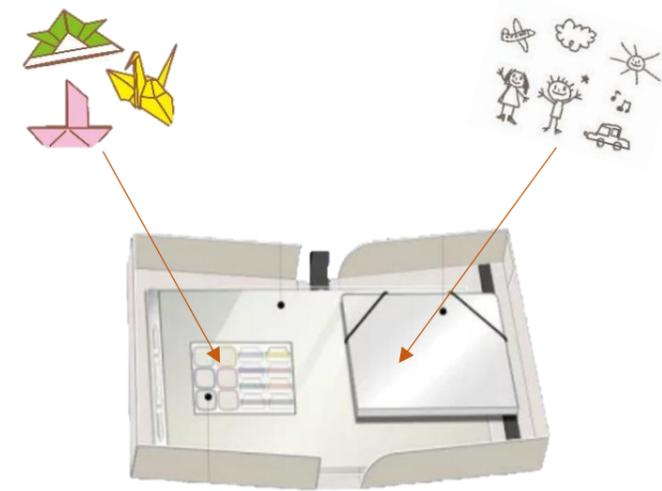


ご担当者様

Before

ご提案 作品ファイルケース（ダンボール製）

お子様の作品



一般的な作品ファイルケース
（プラスチック製）



実際の使用イメージ



- ・ダンボール素材で、**軽量かつコストを抑えた収納ケース**
- ・カラーライナー仕様にする**ことで見せる収納としてのデザイン性を実現**
- ・額縁タイプ構造で、**強度と開閉のしやすさを両立**
- ・紙素材ならではの**やさしい質感で思い出を保管**



担当営業

“プラスチックが当たり前”という考えを見直すことで、新しい価値が生まれるかもしれません。